

食育を通じて、健康でいきいきと安心して暮らせる町

～志賀町食育推進計画を策定しました～

●計画期間は平成24年度から28年度までの5年間

町民一人一人が食を大切に考え、食に関する正しい知識や技術を身につけ、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目指し、「志賀町食育推進計画」を策定しました。

この計画は家庭における食育を基本とし、保育園・幼稚園、学校、地域、行政が連携して、それぞれの立場から、町全体で食育を取り組むための指針となるものです。

<基本施策と主な取り組み>

健康は日々の食事の積み重ね

- ### 食に関する理解促進の取り組み
- 食育の日および食育月間における取り組みの促進
 - 食育に関する情報の提供
 - 各種イベント・教室を通じ食育事業の推進
 - 食育ボランティア、食育サポーターの育成・支援

- ### 保育園・幼稚園、学校における食育の推進
- 年齢や発達段階に応じた食育活動の実践
 - 学校給食を生きた教材として活用した食育の推進
 - 各教科における食に関する指導
 - 学校、家庭、地域が連携した食育の推進
 - 家庭、地域への情報発信

- ### 生産者と消費者の交流促進
- 地産地消を取り入れた体験活動の推進
 - 地域における農水産物、加工品の提供
 - 地場農林水産物の消費拡大

- ### 家庭における食育の推進
- 規則正しい食生活の実践や知識の習得
 - 家族の団らんや食の楽しさの実感
 - 成人を対象とした食生活改善の取り組み
 - 高齢期の適切な食生活の実践に向けた支援

- ### 地域での食文化継承活動の推進
- 地域・ボランティア団体による食育推進活動
 - 地域に根付いた食文化の伝承・普及



◀郷土料理
「あいませ」

- ### 関係機関・団体の連携による食育の推進
- 「志賀町食育推進委員会」の開催
 - 各関係機関・団体相互の連携・協力体制の確立

毎年6月は『食育月間』 毎月19日は『食育の日』です!!

保健福祉センター

☎32-0339

【対象】 志賀町在住の人で健康づくり活動に関心のある人

※申込み後に詳細日程を郵送

【内容】 健康に関する講義、調理実習、運動実技など

※1回ごとの参加はできません

5	4	3	2	1	月日	会場
8月22日(水) 10時～13時	8月8日(水) 9時～14時	7月25日(水) 10時～13時	7月11日(水) 13時30分～15時	6月27日(水) 10時～13時		志賀町保健福祉センター
志賀町文化ホール	町外視察	志賀町文化ホール	志賀町保健福祉センター	志賀町保健福祉センター		

『食生活改善 基礎コースセミナー』参加者募集

『私達の健康は私達の手で』を合い言葉に、食事からの健康づくりを目的とし、地域で活動を行っている『食生活改善推進員』を養成する講座です。

楽しく健康づくりの輪を広げ講座で得た知識を家庭や地域で生かしていきましょう。

【日程】

富来俳壇合同句集 第4集が発刊

第1句集は昭和40年、第2句集は昭和52年、第3句集は昭和60年に発刊され、27年ぶりに第4句集が、富来俳壇から発刊されました。発刊した句集は、志賀図書館、富来図書館にあります。

富来俳壇は、現在会員16人で毎月、例会を富来活性化センターで開催し、会員が作った句を互いに選考し、評価し合うなど切磋琢磨しながら学んでいます。

現在では会員が高齢化し、会員数が少ないという現状です。美しい風景のある志賀町に詩心を持ち、歴史ある富来俳壇に参加しませんか。興味のある人は、お問い合わせください。

富来俳壇会長 森下いわお
☎42-0767



▶発刊された富来俳壇合同句集



聴診器で心臓の音を聞いたり、傷の手当を体験する園児

プチナース・ふれあい訪問

富来保育園の年長児が白衣の天使に

5月6日から12日の看護週間に合わせ、とき保育園の年長児28人が5月7日(月)に富来病院で看護師体験を行いました。菊池豊富来病院長が「病気やケガをせず元気に過ごせるように看護のことを学んでいってください」と話すと、園児たちは、紙で作ったナースキャップやエプロンを身に付け、看護師の説明に耳を傾けていました。

上手な手洗いの仕方を学んだあと、2人1組になり、ばんそうこうや包帯を巻き合い、傷の手当てを行いました。聴診器を使う体験では、お互いの心臓の音を聞きあいながら「ドクドクと大きな音がする」と話し、笑顔を見せていました。

体験したお礼に、園児から指導した看護師へ「こいのぼり」の歌のプレゼントがされ、28人全員で制作した切り絵が手渡されました。切り絵は、富来病院の玄関に飾られています。

この日の体験を受け、将来、看護師になりたいと話す園児もいました。

子どもたちに安全な生活環境づくり

町内の小学1年生に交通安全旗を寄贈

交通事故の未然防止を図り、子どもたちの育成と安全な環境づくりに貢献するため、志賀農業協同組合から教育委員会に交通安全旗が寄贈されました。

交通安全旗は、JA共済のキャラクターでもあるアンパンマンが描かれていて、素材が軽量で小学1年生でも負担なく持ち運べるようになっています。夜間の横断時にもドライバーの注意喚起ができるよう反射材が貼られています。

交通安全旗の寄贈は今回で4回目で、今年度は町内の小学1年生144人に渡されました。



JA 志賀田端正敏組合長から交通安全旗を受けとる穴田教育長

これからもお元気に

100歳おめでとうございます

鹿頭の石井きくのさんが4月22日に100歳を迎え、23日(月)に小泉町長が訪れ、花束や祝い状を贈り祝福しました。

若い頃から始めた新聞配達の仕事約50年続け、5人の子どもを育てました。現在は長男夫婦と孫に囲まれながら5人で生活しており、大相撲中継を見たり、天気の良い日には散歩に出かけるなどして暮らしています。

小泉町長は「これからも家族の皆さんと幸せに暮らしてください」と話し、きくのさんは「100歳まで生きることは大変なこと。みんなに感謝しています」と喜んでいました。



家族や民生委員、小泉町長に囲まれる石井きくのさん

地元の魚を食べよう！

町内の小中学校にハタハタ給食

県内産の魚を学校給食で使う「石川のおさかな給食事業」が4月24日(火)に行われ、富来漁港で水揚げされたハタハタが町内の小中学校の給食に出されました。

志賀中学校では、2年生117人がランチルームで担任教諭からハタハタについて説明を受けたあと、カルシウムがたっぷり摂れるよう骨付きのまま唐揚げした、ハタハタを味わいました。

給食を食べた生徒は「骨が少なく食べやすい魚でおいしいです」と話しました。



ハタハタの唐揚げを味わう生徒

志賀相撲教室が大活躍

小・中学生相撲木曾大会の入賞を報告

4月22日(日)に長野県で開催された第10回記念小・中学生相撲木曾大会で、好成績を納めた志賀相撲教室生の6人が、5月2日(水)に役場を訪れ成績を報告しました。

新谷諒真君(堀松小3年)、道辻敬斗君(土田小2年)、池田盛隆君(堀松小3年)の3人で挑んだ団体低学年の部で初優勝を果たし、中村竜世君(高浜小4年)、奥田琢朗君(富来小5年)、赤芝龍洋君(高浜小6年)で挑んだ団体高学年の部では準優勝を果たしました。個人戦も上位に入賞しました。

小泉町長は「まだまだ上を目指して練習に励んでください」と激励しました。



入賞報告をした志賀相撲教室生の皆さん

映画「リトル・マエストロ」

映画「リトル・マエストロ」展が開催

今年の1月27日から2月11日に志賀町を主舞台として撮影された映画「リトル・マエストロ」の展示会が、5月15日(火)から5月20日(日)までは文化ホールで、5月22日(火)から27日(日)までは富来活性化センターで開催されました。

会場には、撮影に使用した楽器や衣装、撮影に使用した看板、出演者のサイン色紙、撮影風景の写真、劇場車などが展示され、映画のテーマ曲である「威風堂々」のBGMとともに、写真のスライドショーも行われました。



展示会場の様子



花の苗の植え付けを行う児童

人権の花運動

やさしく思いやりの心を育てる

5月18日(金)に加茂小学校で、七尾人権擁護委員協議会から「人権の花」が贈られ、児童30人が参加し、プランターに花の苗を植えました。

花の水やりや世話を通じて、児童たちが心や命の大切さを学ぶため、七尾人権擁護委員協議会と金沢地方法務局七尾支局が人権啓発活動として行いました。

プランターには、ブルーサルビア、マリーゴールド、ペコニアの花が120株植えられました。植えた花は、玄関に飾られ児童が水やりなど世話をしたあと、近くの保育園などに配る予定です。